甲賀市企業人権啓発推進協議会広報

共に生きる

第39号
2024年7月
発行・編集
甲賀市企業人権啓発推進協議会
事務局
甲賀市産業経済部商工労政課内
TEL 0748-69-2188
http://www.ac-koka.jp/koka-kijinkyou/

会長就任にあたり

初夏の候　会員企業の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当協議会の活動に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

過日の当協議会総会において、異動により退任される岸野前会長の後任として、会長の大役を仰せつかりました堤でございます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

関係する皆様のおかげをもちまして、当協議会は去る4月26日に第20回記念総会を挙行することができました。あらためて感謝申し上げます。歴代の会長、役員、会員の皆様が脈々と築きあげてこられた人権啓発の様々な活動とその心を継承し、当協議会の主旨であります「基本的人権が尊重された、差別のない明るい職場づくり」の実現に向け、役員一同、誠心誠意、取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

さて、「人権の世紀」と言われる21世紀が始まってから、早くも四半世紀が経過しようとしています。1948年に国連総会で採択された世界人権宣言第１条前段にある「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」という崇高な理念を実現するための取り組みは続いており、多くの人権関連条約が定められ、2006年に国連総会で採択された障害者の権利条約が国内では障害者差別解消法の成立や障害者雇用促進法の改正に結びつくなどの成果もあります。一方ではウクライナや中東における紛争をはじめ世界各地で深刻な人権侵害が続いています。また、私たちの周りにも同和問題をはじめ、様々なハラスメントやインターネットでの誹謗中傷などの人権侵害が残されており、私たちは多くの人権課題に向き合っていかなければなりません。「差別のない明るい職場づくり」をめざし、当協議会の研修や現地視察、啓発活動などを通して会員の皆様とともに学習し、学んだものをそれぞれの職場や地域・家庭に持ち帰り、差別のないまちづくりの輪を広げていただけるように取り組んでまいりますので、会員企業の皆様におかれては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげ、就任の挨拶とさせていただきます。

甲賀市企業人権啓発推進協議会
会長　堤　　照　司

甲賀市企業人権啓発推進協議会 第20回（令和6年度）記念総会　全議案承認され終了

去る4月26日（金）午後2時より碧水ホール（水口町）において、甲賀市企業人権啓発推進協議会第20回（令和6年度）記念総会が会員83名の参加（委任状130名）で開催されました。総会に先立ち、令和5年度人権標語優秀作品の表彰が行われ、12名の入選者に岸野会長より表彰状と副賞が贈られました。

昨年までは新型コロナ感染防止の観点で書面決議での開催を余儀なくされましたが、4年ぶりに通常の第20回記念総会の開催となり岸野会長から種々の人権問題、戦争の課題等が述べられ、このような時こそ企業人権啓発推進協議会の設立趣旨に基づき研修・啓発をする必要性が述べられました。

続いて来賓祝辞を甲賀市副市長・甲賀市人権尊重のまちづくり推進本部長　正木仙治郎さま、甲賀公共職業安定所長　赤平仁志さまからいただきました。

20回記念総会ということで甲賀市企業人権啓発推進協議会の発展に尽力されました先輩諸氏（10回総会表彰者除く）13名に感謝状と記念品の授与が岸野会長よりされました。

議事に入り提案された5議案が原案通り賛成多数で承認されました。

第1号議案　2023年度事業報告について
第2号議案　2023年度収支決算について
第3号議案　2024年度事業計画（案）について
第4号議案　2024年度収支予算（案）について
第5号議案　2024年度役員（案）について

功労者代表であいさつの第5代小林会長

本年は役員改選の年ではありませんが企業の人事異動により会長・事務局長が交代（議案で承認）されました。新役員を代表し堤　照司会長より役員一同力を合わせあらゆる差別を許さない、人権課題解決に向けての運動を推進すると決意が述べられました。

人権標語入選者の皆様

障がい者雇用に係る学習・懇談会（2023年11月9日）

2023年11月９日（木）企人協役員対象の障がい者雇用に係る学習・懇談会として、甲賀市水口町にある甲西陸運株式会社　アグリグループを、役員・事務局の 12 名にて訪問させていただきました。

甲西陸運は製造・保管・輸送の事業を湖南市を中心に近畿・中部地域にて営まれており、これまでも法定雇用率を超える障がい者雇用の実現や、障がい者作業所への業務委託にも取り組まれていました。

企業としてはSDGsへの取り組みをされている中で、アグリ事業への展開も行われており、ユニバーサル農業＆スマート農業を目指されているとのことですが、訪問見学させていただいた水口町の事業所では菌床きくらげ「ニンニンきくらげ」の栽培を １ 万床以上の規模で展開されており、自社従業員に加えて作業施設利用の障がい者 6 名が就業されていました。現在の障がい者の就業形態は施設連携型ですが、今後は直接雇用も検討されるとのことでした。

また、本年４月には、農福連携に取り組まれる中「ノウフク JAS」の認証を取得されています。

就業されている障がい者の方へのアンケートを行うことにより、就業による変化の把握を行われており、「体調を崩しにくくなる」「体力がつく」「意欲・表情が明るくなる」「あいさつができるようになった（全員）」など、身体的・精神的に良好となる傾向であることを説明いただきましたが、その要因として作業者の失敗についても事業者側の配慮・気遣いが必要であるとの考えを持って運営されていることなど、運営者として努力されている結果と知ることが出来ました。

ご説明を受けた後に、実際の作業場を見学させていただきましたが、３Ｓ・５Ｓが行き届いており、その場に居られた従業員・障がい者就業の方々の表情も皆さん明るく、喜んで従事されていると感じました。

課題として「ノウフク JAS」の認知度向上を上げられていましたが、企業として継続した事業展開を図るためには、利益の確保を優先して考えがちですが、当該事業としては社会貢献を重視され運営されていることに、企業としての理念の高さを知ることができ、企業の社会貢献について改めて考える機会をいただきました。

見学を受け入れていただいた、甲西陸運の皆様ありがとうございました。

（㈱滋賀松風　畑山博行・記）

令和5年企人協会員従業員対象研修会（2023年12月12日（火））

令和5年（2023年）12月12日（火）あいこうか市民ホールにてコミュニケーションスキルのひとつとされる『アサーション』について株式会社 宙 代表取締役　栗栖桂子氏の講演会が開かれました。

アサーションとはより良い人間関係を築くためのスキルの一つで、自分の意見を一方的に相手に押し付けたり、または自分だけが我慢するのでもなく相手を尊重しながらも率直に自分の意見を伝えるコミュニーケーションスキルとされています。メリット・効果として３つあり①建設的なコミュニケーションが取れる　②組織の生産性やモチベーションの向上　③仕事上のストレス軽減があります。

基本スキルは、よく耳にする『聴く』です。『きく』には３つのパターンがあり、先ずは『聞く』この主人公は『聞く人』で、ながら聞きが代表的で自分にとって知りたいことだけを聞き、興味の無いことは聞き流している状態のこと。次に『訊く』とは、相手の話を遮って相手に質問を重ねるなどし、答え・結論を求めてしまっている状態のこと。最良とされるのは、『聴く』で主人公は『話す人』であること、聴く側は相手のペースに合わせ気持ちに寄り添い積極的に理解しようと集中する姿勢を持ち合わせた傾聴と言われる聴き方です。当日はペアワークを交え進行され自身の『聴く』スキル再確認機会となり大変充実した時間となりました。

研修に参加のみなさん

熱心な講演の栗栖佳子さん

言葉では簡単で理解しているつもりですが、自身の行動を思い返すと反省する場面が多々あると改めて感じます。また、『伝える』スキルでは、Ｉ（アイ＝私）メッセージの活用です。主語を『あなた』 から『私』に変えることで、相手に配慮しながらも自分の正直な気持ちを伝えることができるようになることも学びました。上下関係で上から、あなたはこうだからと伝えるのではなく、対等の立場で私はこうしてもらえると嬉しいと正直な気持ちを伝えられるよう工夫をしたい。

何より実践することが重要で今回学んだことを、自ら積極的に取入れ安心感を与え信頼関係を育み、心理的安全性の高い職場環境を実現し個々の個性能力が発揮できることを期待しています。

（近江鉄道㈱　土山サービスエリア　田中健二・記）

7月は「なくそう就職差別 企業内公正採用・人権啓発推進月間」です

令和6年度（2024年度）役員体制（専門部体制）

役　職	氏　名	企業・事業所名
会　長（雇用部長）	堤　照司	住友電工ウインテック㈱
副会長（雇用部）	中嶋　大展	甲賀バラス㈱
副会長（雇用部）	本田　浩喜	ショット日本㈱
副会長（雇用部）	藤岡　正行	㈱コーガアイソトープ
副会長（雇用部）	森澤　栄樹	㈱アークレイファクトリー
事務局長（雇用部）	倉田　浩明	甲賀農業協同組合
理事（啓発・広報部長）	田中　健二	近江鉄道㈱土山サービスエリア
理事（啓発・広報部）	内田　宏文	ニッポンロジパック㈱
理事（啓発・広報部）	石田　一樹	（社福）甲賀学園
理事（啓発・広報部）	山田　裕子	（社福）あいの土山福祉会
理事（啓発・広報部）	木田　一志	山一化工㈱滋賀工場
理事（啓発・広報部）	山本　英樹	セキスイボード㈱
理事（啓発・広報部）	東川　弘美	㈱ジーテクト
理事（啓発・広報部）	宇野　友一	㈱滋賀松風
理事（研修部長）	奥嶋たみ子	（社福）信楽福祉会 信楽荘
理事（研修部）	中森　俊光	甲賀農業協同組合信楽支所
理事（研修部）	小林　保	甲賀協同ガス㈱
理事（研修部）	田井中　洋	滋賀交通㈱水口営業所
理事（研修部）	上山　清和	西川ローズ㈱甲賀事業所
理事（研修部）	神﨑　加代	シオノギテクノアドバンスリサーチ㈱
理事（研修部）	高阪　裕貴	医療法人社団仁生会甲南病院
理事（研修部）	谷口　佳枝	㈱滋賀銀行水口支店
監事	藤原　郁夫	㈱水口テクノス
監事	相見　聡	㈱滋賀銀行大原支店

第20回記念総会特別研修　4月26日（金）

人権手話ライブで参加者参加の手話体験

4月26日（金）甲賀市企業内人権啓発推進協議会第20回記念総会に続いて、特別研修会が開催されました。

研修内容は、「人権手話ライブ」　講師：yokko（よっこ）さん

あっという間に研修時間が過ぎました。その内容は楽しく為になるものでした。

yokkoさんが甲賀市水口町出身、5歳からピアノを始めて音大に進学、卒業後に芸能事務所に所属して歌手活動開始。自身の体験を元により多くの方が音楽を楽しめる場所づくりを目指し、大阪を拠点に活動。現在は、滋賀を拠点に全国の教育現場や福祉施設、地域のイベントや企業研修など「sing!sing!!smile!!」（手話と歌で笑顔になろう）というテーマで活動されている手話シンガーソングライターです。

yokkoさんが歌手活動で大切にしていることが2つあります、1つめは夢を持っていた子どものころの自分に認めてもらえるよう今を生きていること。2つめは今の子ども達に夢を持つきっかけをプレゼントできる自分であること。故郷への想いとともにyokkoさんが大切にしている想いを詰め込んだ楽曲「みなくち」を披露いただきました。

手話つきのその歌声は心に響くとても心地良いものでした。私は手話については全くわからなかったのですが、きっとろう者の方たちにも響く内容だったのだと思っています。

「ろう者」、多くは音声言語を獲得する前に失調した人、コミュニケーションの基本は手話の方です。

芸能活動開始して間もなく声が出なくなる病にかかったyokkoさんが手話を学ぶ機会に出会った聾（ろう）の先生は音楽が大好きだそうです。からだ全部を使って楽しむものが音楽だって、笑顔で教えられたと言います。

ハッとしました。「耳が聞こえなかったら」「音楽が聴けなかったら」考えたこともなかったので。音楽をからだ全部使って楽しむという考え方も。

講演ではあいさつや数の数え方など基本的な手話をいくつか教えていただきました。全てを紹介したいところではございますが今回は一つだけ紹介します。iPhoneなどで「手」と入力しても絵文字で出てくる手話だそうです。手をパーにして、そこから薬指・中指のみを折り曲げます。親指・人差し指・小指が立っている状態です。これ、「I love you」を表現する世界共通の手話とのことです。言語が変われば手話も変わる、国内でも方言によって変わるなど様々なのだそうです。この「I love you」は「愛してるよ」とフランクな感じで相手に気持ちを伝える時に使えるみたいです。ぜひ覚えてくださいね。

続く楽曲「にじ」では、手話のレクチャーを受けてライブ参加した気分で楽しい時間でした。手話は言葉を伝えるだけのものと思っていましたが、その人の感情や自分を表現する大切なツールだということ。手や言葉だけではなく表情を見ることも大事なのだということは、ろう者・聴者関係ないコミュニケーションの重要な部分なのだなと感じました。

「2時10分前に集まる」という言葉、「1時50分」と理解する人もいれば、「2時7分ごろ」と理解する人がいる。手話や言葉のニュアンスの違いを伝えるまたは読み取る難しさについて述べられたことは、なるほどと気づかされました。

最後にニュースです。

2025年開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」（第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会）のイメージソング「シャイン！！」をyokkoさんが作詞作曲＆歌唱されています。ぜひみなさんも聴いてみてください。

（ニッポンロジパック㈱　内田宏文・記）

水平社博物館視察とその周辺のフィールドワークに参加して　2月2日（金）

水平社博物館歴史を学習の参加者

2月2日（金）に奈良県御所市にある水平社博物館の視察とフィールドワークに参加させて頂きました。全国水平社という名前だけは、中学生のころ社会の授業で習った記憶がありましたが、恥ずかしながら、どのようなことが行われていたかまでは覚えていませんでした。この視察がきっかけで、水平社宣言の原文と現代語訳を改めて読みました。

1871年の解放令（差別されてきた人々の身分を廃止してこれからは身分・職業ともに平民と同じにする太政官布告）は身分差別を行う法的な根拠はなくなりましたが、被差別部落の人々にとっては、上の人から押し付けられたようなものでした。

「人間は平等であり尊敬されるべきもの」なのだと、長く苦しい歳月を経て、西光万吉さん、阪本清一郎さんを中心に解放令から約50年後の1922年3月3日、今から約102年前、被差別部落の人々が差別からの解放を目指して創立した「全国水平社」の創立大会で、全国で初めての人権宣言と言われている「水平社宣言」が読み上げられました。

水平社とは、人間は生まれながらにして平等な存在であるという理念から名付けられています。

館外フィールドワークで学習の参加者

宣言文の最後に「人の世に熱あれ、人間に光あれ」の一文がありますが、「人間を尊敬し大切にし合うことで差別はなくしていける」という願いが込められています。

フィールドワークでは、柏原の地形や何故この地域が被差別部落だったのか、神武天皇社やお寺の関係性などガイドの方から説明を受け、実際にこの地を歩くことで肌で感じることができました。

水平社宣言が出されて100年を超えた現在でも、就職や結婚など人生の節目に際したとき、差別があると話を聞きました。人は知らず知らずのうちに自分よりも弱い立場や上下関係がある人やモノに差別をしているのかも知れません。現代ではYouTubeやSNSで被差別部落をアップしたり、水平社博物館前でヘイトスピーチをする人もいるそうです。また、学校や職場、LGBTQなど様々な場面で差別は存在します。また、最近は子どもたちに漫画のワンピースを用いて差別を説明するコーナーもありました。

一番大切なことは、知ること、理解すること、相手の立場に立つことだと思います。

「差別や偏見は無知から始まる。」今回のフィールドワークで私が感じたことです。

（㈱ジーテクト　東川弘美・記）

2024年度　事業計画

1. 会議
- 総会開催　4月26日（金）
- 理事会・専門部会　適時

2. 研修部
- 総会特別研修　4月26日（金）
- 経営者トップ研修　7月10日（水）
- 人権フォーラム　9月
- 会員企業従業員対象フィールドワーク研修　10月
- 会員企業従業員対象人権研修　12月
- 役員対象フィールドワーク研修　2月

3. 啓発・広報部
- 広報誌『共に生きる』発行年2回　6月・12月
- 会員企業向け啓発グッズの配布　6月～7月
- 人権標語の募集　12月
- 人権標語のステッカー配布　3月
- ホームページの更新（充実）　都度

4. 雇用部
- 役員対象障がい者雇用にかかる学習会　11月

5. その他
- 会員獲得に向けた取り組み　年間
- 関係団体との連携　年間

甲賀市企業人権啓発推進協議会
人権標語入選作品表彰

最優秀作品
差別の芽 まかない 生まない 育まない
トヨタ紡織滋賀（株）　白杉直子

優秀作品
わたしの普通と　あなたの普通
みんなが違って　当たり前
住友電工ウインテック（株）　徳永祐希

自分基準　ハラスメントの　リスクあり
ショット日本（株）　木田泉

消えないよ　ふとつぶやいた　その言葉
（株）滋賀銀行水口支店　木村行範

気を付けよう　ジョークのつもりが　パワハラ認定
近畿労働金庫水口支店　林礼子

声に出せないSOS　感じとろう　小さなサイン
甲賀協同ガス（株）　石川大生

大丈夫？その一言が　笑顔生む
フクシマガリレイ（株）滋賀（水口）工場　伊奈和孝

感謝と笑顔が　心を開く　共に未来を　良い甲賀（効果）
大塚オーミ陶業（株）　石本秀史

スマホより　周りの人を　見る意識
甲賀農業協同組合　谷口秀星

気づく瞳と　感じる心　優しい笑顔に　感謝状
（社福）甲賀会　特別養護老人ホーム甲賀荘　中村彰宏

相手の気持ちに寄り添える　心に余裕とやさしさを
甲賀協同ガス（株）　石川知見

優しい気遣い思いやり　自然と生まれる感謝の気持ち
住友電工プリントサーキット（株）　立岡律子